

災害発生……自動的に緊急放送開始!

緊急告知FMラジオ 発売へ

エフエムくらしき・倉敷ケーブルテレビが共同開発

災害・緊急時に自動的・強制的に電源が入り、ライトが点灯、最大音量で緊急放送が

★防災フロントライン★



「エフエムくらしき」と倉敷ケーブルテレビによって共同開発された。当面、地方公共団体を対象に来年(06年)3月ごろに発売の予定で、価格は8000円程度の見込み。

「緊急告知FMラジオ」の電源がオフでも、局から発信する電波を受信して自動的に電源がオンになり、最大音量で放送を始める。

- ①「緊急告知FMラジオ」の電源がオフでも、局から発信する電波を受信して自動的に電源がオンになり、最大音量で放送を始める。
- ②同時にライトも点灯、聴覚障害者への告知にも有効。停電時や暗闇でもライトとして使用可
- ③音が風雨に影響されず、家屋内で緊急放送を聞ける。
- ④FM局の電波は災害時の情報伝達媒体として有効性が高い。FM電波未到達エリアではCATVのみでの利用可
- ⑤軽く(250g)、避難時の持ち運び、避難所での受信可
- ⑥充電バッテリーを内蔵、停電時でも動作が可
- ⑦ラジオ価格は8000円程度

度(予定価格)と、各家庭での設置が可能な価格帯

⑧平時時は地域のコミュニティFMラジオ放送を受信

⑨ユニバーサルデザインで高齢者にも使いやすく、防滴性や強度に優れる。

同システムは、コミュニティFM局の電波を利用して、ることから大規模なセンサー装置や利用者側の工事などが不要で、緊急放送の送受信に関連する免許も局側が取得済み。防災行政無線や屋外放送に比べコストが安い。

なお、同システムによる緊急告知の方法は次のようだ。災害など緊急事態の発生↓緊急告知FMラジオ起動(コミュニティFM局)↓行政による割り込み放送開始(災害緊急放送に関する協定により行政が直接、住民に向け放送)、コミュニティFM局による災害放送の開始↓避難勧告

・支所で成功裏に実施され、市は来年度の導入を予定している。

「エフエムくらしき」ではラジオの設置場所として、町村の本庁舎、支所・出張所から保育園、学校、病院、福祉関連施設などを想定。さらには自主防災組織リーダー、各家庭、オフィスへの普及・展開を図る。また同時に、各地の行政関係者やコミュニティFM局(全国約180局)にその導入を提案していく。

▼問い合わせ先
(株)エフエムくらしき
(担当・大久保)
TEL 0866・430・0600

のテスト放送が倉敷市の本庁